

地球の「運ぶ」を創造する

ISUZU

いすゞ行動規範





やまくち なおひろ
山口 真宏
代表取締役
取締役社長CEO

なぜ行動規範が必要なのか？

いすゞグループは、「地球の『運ぶ』を創造する」という経営理念のもと、社会や産業の発展を支える商用モビリティソリューションカンパニーとして歩みを進めてきました。私たちの製品とサービスは、物流・建設・公共交通等、社会のあらゆる場面で人々の生活を支えています。

いま、世界はかつてない変化の時代を迎え、企業に求められる役割も大きく変化しています。企業はもはや「利益を生む存在」だけでなく、「社会の公器」として、社会的・環境的課題の解決に積極的に貢献する責任があります。

このような時代の要請に応え、私たちは「いすゞ行動規範」を策定しました。この行動規範は、私たち一人ひとりが日々の業務で判断や行動を行う際の“よりどころ”となる倫理観と原則を明文化したものです。そしてそれは、ISUZU IDに掲げる志を、現場の一つひとつの行動で体現していくための「指針」でもあります。

社会からの期待に応えよう

この行動規範は、いすゞグループの全員が実践し、体現していくべき「行動の約束」です。どれほど技術が進化しても、企業の信頼は最終的に「人の行動」から築かれます。だからこそ、私たちは行動規範を心に刻み、常に誠実に、責任を持って行動しなければなりません。

迷いや疑問を感じたときには、この行動規範を振り返り、行動の指針としてください。それでも確信が持てないときは、一人で抱え込まず、その迷いを言葉にしてください。不正を防ぐ行動は、組織の信頼を守るものであり、決して不利益を受けることはありません。役職員・マネジャーの皆さんは、仲間の手本となり、率先垂範の姿勢でこの規範を実践してください。一人ひとりの行動が、社会・お客様・同僚からの信頼を生み、ひいてはいすゞグループの持続的な成長と企業価値向上の基盤となります。

いすゞグループはこれからも「運ぶ」を通じて、持続可能で豊かな社会の実現に貢献してまいります。私たち一人ひとりの誠実な行動が、いすゞの未来を形づくります。ともに、誇りある企業文化を育み、次の時代へと確かな一歩を踏み出していきますよう。

CRMOメッセージ

「いすゞ行動規範」の実践に向けて

「いすゞ行動規範」は、私たちが社会から信頼される企業であり続けるための「道しるべ」です。行動規範は単なるルール集ではなく、私たち一人ひとりが日々の業務のなかで、何を大切にし、どう判断し、どう行動すべきかという倫理的指針を示すものとして策定しました。

担当役員として、私は行動規範の実践を率先して行うとともに、皆さんが安心して判断・行動できるよう支援していきます。現場では、時に難しい判断を迫られる場面もあると思います。そんなときこそ、行動規範をよりどころにしてください。

「いすゞ行動規範」の活用

今後、いすゞグループ全体で、行動規範の浸透に向け、継続的な教育やトレーニングの機会を提供し、世界各地の仲間一人ひとりが自信を持って行動できる環境づくりに取り組んでいきます。

具体的には、職員の受入時研修や各種コンプライアンス研修の場等を通じて、行動規範を自らの業務にどう活かすかを考え、グループ全体で共有する倫理観として根づかせていきます。

行動規範は、会社のためだけでなく、皆さん自身のためのものです。一人ひとりが「自分事」として捉え、日々の業務のなかで実践することで、いすゞらしい誠実さと社会に対する責任を大切にする企業文化が育まれていきます。行動規範を理解することで、皆さんの判断や行動に自信が持てるようになり、結果としてお客様や社会からの信頼にもつながることになります。

私たちは、皆さんの声を大切にしなが、より良い職場環境と企業文化を築いていきたいと考えています。行動規範はその出発点です。ぜひ、一人ひとりがその精神を実践し、ともにいすゞの未来をつくっていきましょう。



あさはら けんいち

浅原 健一

常務執行役員

CRMO リスク統括部門EVP

この冊子について

▶ 「いすゞ行動規範」の適用範囲

- ▶ いすゞグループに所属するすべての役員・従業員
- ▶ お取引先様やビジネスパートナーにも行動規範の理解と支持を期待

▶ リーダーへの期待

リーダーとは、役員、管理者、および指導者を指します。リーダーとして以下を実践してください。

ISUZU IDの体現者として：

ISUZU IDの価値観(CORE VALUE)をマインドとして持ったうえで、すべての行動で「いすゞ行動規範」を実践してください。また本行動規範の大切さを従業員へ伝えるとともに、従業員からの質問へ答えられるようにしてください。

人財育成の推進者として：

働きがいのある職場環境の創出に努め、多様性を尊重し、すべての従業員が能力を最大限に発揮できる組織体制を整備してください。また、従業員との対話を重視し、声を上げやすい風土作り、相談しやすい環境を整えてください。

公正な行動の実施者として：

コンプライアンスに反する行動があった場合は、速やかに所定の窓口へ通報してください。従業員には不利益な取り扱いが容認されないことを伝え、安心して通報するように指導してください。

▶ 従業員への期待

従業員とは、いすゞグループ全体でともに働く皆さんを指します。従業員はISUZU IDの実現に向けて、以下の行動を実践してください。

「いすゞ行動規範」の理解者として：

行動規範をよく読んで、法令・倫理の理解と遵守を徹底してください。また関連する研修等の学びの機会を通じて、自らの業務に関係する法令がどのように適用されるかを学び、違反行為を未然に防いでください。

多様性と協働を尊重する実践者として：

年齢・性別・国籍・障がいの有無等に関わらず、互いを尊重し合う姿勢を持ってください。チームとしての協働を重視し、相互成長を目指してください。

公正な行動の実施者として：

コンプライアンスに反する行動があった場合は、速やかに所定の窓口へ通報してください。特に、すべてが明確に判断できない複雑な状況では、決して一人で抱え込まず、上司や関係部署に素直に相談する勇気を持ちましょう。その行動こそが、自分自身を守り、結果として会社を守る力にもつながります。

▶ 現地法・ローカル補足規程との関係

- ▶ 行動規範はいすゞグループ共通の最低基準です。各国・地域の法令が行動規範より厳しい場合は、当該法令を優先します。法令と行動規範が矛盾するよう見える場合、法令への準拠を前提としつつ、個人で判断せず、必ず上長または法務・コンプライアンス管轄部署に相談してください。
- ▶ 必要に応じて、各国・地域の法令や慣習を踏まえたローカル補足規程を定めることがありますが、それらは行動規範の精神を補完するものであり、行動規範の考え方や基準を損なわないものとします。

公正な判断のために

私たちは、常に正々堂々と行動し、社会に広く貢献するために、価値ある商品を提供し、健全な利益を創出することが求められています。コンプライアンスに反してまで利益を得ることは、決して許されません。ひとつの過ちが、長い時間をかけて築いてきた信頼を失うことにつながってしまうことを認識してください。

日々の業務のなかで迷いが生じたときは、「私たちの行動は、いすゞのブランドや企業価値を高めるものか」という視点に立ち返ることが重要です。この姿勢が、お客様・株主/投資家・お取引先様、そして社会との信頼関係を築く基盤となります。

この信頼をより確かなものにするために、役員・従業員一人ひとりが法令を守るだけでなく、高い倫理観を持って業務に取り組むことが求められます。

ISUZU IDといすゞ行動規範

いすゞグループの皆さんがISUZU IDの価値観(CORE VALUE)をマインドとして堅持し、MISSION/VISION/“地球の「運ぶ」を創造する”を達成していくうえで、良識と公正さの観点からどう行動すべきか、を示したものが「いすゞ行動規範」です。

刻々と変化する環境の中で意思決定を行うとき、絶対に忘れてはいけない「公正であること」の基準となるものです。それは、金銭的価値や効率性といったビジネス上の論理だけでは測れない、人としての正しさに基づく判断を支えるものです。

一人ひとりがISUZU IDの実現に向け、この行動規範を指針として「何をすべきか」「何をすべきでないか」を考え、日々の行動に活かしてください。



通報する方法とその後の流れ

コンプライアンス違反等を見つけた際に必要なのは、誰もが安心して通報できる環境です。

いすゞでは、通報者の保護を徹底し、公正かつ迅速な対応を行うことで、企業としての信頼と透明性を守ります。

ここでは、通報の方法とその後の対応の流れについてご説明します。

▶ 通報先

各所属会社の：

- ▶ 上司
- ▶ 上位の上司、または信頼できる他の管理職
- ▶ 人事管轄部署、法務・コンプライアンス管轄部署
- ▶ 外部窓口

通報者の保護

コンプライアンス違反等を見つけたとき、正しい行動として通報することはとても重要です。

迷ったときや不安を感じたときは、一人で抱え込まず、社内外の相談窓口気軽に相談してください。通報は社内窓口だけでなく、外部窓口にも可能です。

「通報したら不利益を受けるのでは」と不安に思う方がいるかもしれませんが、いすゞグループでは、通報者が安心して声を上げられるよう、氏名や通報内容の秘密を守り、報復行為を禁止しています。

善意に基づき通報・相談した人の氏名や通報内容は、各国・地域の法令に従い、必要な範囲でのみ共有されます。

通報者の誠実な行動は、企業の信頼と健全な職場づくりにつながります。皆さん一人ひとりの勇気ある行動が、より良い企業文化を支えます。正しい行動が守られる職場づくりのため、理解と協力をお願いします。

▶ 通報の流れ



▶ はじめに

お客様からの信頼

公正かつ健全な
事業活動のために

私たちの
経営資源を守る

従業員の尊重

良き企業市民
として

マネジメント

目次

はじめに P1~6

トップメッセージ	1
CRMOメッセージ	2
この冊子について	3
公正な判断のために	4
ISUZU IDといすゞ行動規範	4
通報する方法とその後の流れ	5

お客様からの信頼 P7~10

お客様のニーズを適切に反映した商品の提供	9
商品の品質と安全性確保	9
お客様との適正な契約と情報提供	9
お客様に対する誠実な対応	10

公正かつ健全な事業活動のために P11~21

公正な競争	13
公正な調達活動	16
腐敗・贈収賄の防止	17
適切な情報開示	19
反社会的勢力やその他の組織的犯罪集団との関わりの禁止	20
税の透明性	21

私たちの経営資源を守る P22~25

利益相反の防止	24
会社資産の保護と活用	24
情報管理	25
サイバーセキュリティ	25

従業員の尊重 P26~29

差別の禁止	28
児童労働・強制労働の禁止	28
多様性の尊重	28
職場環境の整備・安全配慮義務(含むハラスメント)	29
結社の自由、団体交渉権	29
能力開発、ワーク・ライフ・バランス	29

良き企業市民として P30~35

環境保全への貢献	32
人権の尊重	33
交通安全	34
ステークホルダーとの対話と社会貢献	35

マネジメント P36~38

コンプライアンスを実効的に機能させるために	37
-----------------------	----

本行動規範策定に当たり参照した文書：

以下文書を参照するとともに、各国法令への適合性も確保することに努めています。

- ・国連「グローバルコンパクト10原則」
- ・国際労働機関(ILO)「多国籍企業及び社会政策に関する原則の三者宣言」
「労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言」
- ・経団連「企業行動憲章」
- ・EU「CSDDD(企業サステナビリティデューデリジェンス指令)」
- ・米国司法省「ECCP(コーポレート・コンプライアンス・プログラム評価)」

▶ はじめに

お客様からの信頼

公正かつ健全な
事業活動のために

私たちの
経営資源を守る

従業員の尊重

良き企業市民
として

マネジメント

公正かつ健全な
事業活動のために

私たちの
経営資源を守る

従業員の尊重

良き企業市民
として

マネジメント

お客様からの信頼

- ▶ お客様のニーズを適切に反映した商品の提供
- ▶ 商品の品質と安全性確保
- ▶ お客様との適正な契約と情報提供
- ▶ お客様に対する誠実な対応

お客様からの信頼が 大切な理由

お客様からの信頼は、
いすゞの事業の根幹を支える最も重要なものです。
私たちは、お客様の期待に応える
商品とサービスを提供することで、
安心と満足をお届け、長期的な信頼関係を築いていきます。
信頼は一朝一夕では得られず、
日々の誠実な取り組みの積み重ねによってのみ
築かれるものです。

いすゞの約束

- ▶ いすゞは、お客様からの信頼が事業活動の基盤であると認識し、お客様との長期的な信頼関係を構築します。
- ▶ いすゞは、品質と安全性を最優先に、お客様のニーズを的確に捉え、最高水準の商品・サービスを提供します。
- ▶ いすゞは、お客様との契約や情報提供において、常に公正かつ透明な対応を行います。
- ▶ いすゞは、多様性を尊重し、すべてのお客様に誠実で倫理的な対応を徹底します。

従業員の約束

- ▶ 私は、すべての業務が、お客様の満足と信頼を得るための大切な活動であることを自覚し、お客様との長期的な信頼関係の構築に努めます。
- ▶ 私は、お客様にわかりやすく正確な情報をお届けします。
- ▶ 私は、すべてのお客様に敬意をもって、公平かつ倫理的に接します。

▶ お客様のニーズを適切に反映した商品の提供

- ▶ お客様の声や要望を迅速かつ正確に把握し、商品・サービスの企画・改善に活かします。
- ▶ 社会や市場の変化を踏まえ、ニーズに応える価値ある商品・サービスを開発します。
- ▶ 各部門が連携し、お客様視点を重視したものづくりを継続的に推進します。

▶ 商品の品質と安全性確保

- ▶ 法令・規格・社内基準等を遵守し、品質と安全性を確保します。
- ▶ 製品の設計・製造・検査において、品質向上とリスク低減に継続的に取り組みます。
- ▶ 品質や安全性に問題が発生した場合は、迅速かつ適切に対応します。

▶ お客様との適正な契約と情報提供

- ▶ 契約や取引に関する法令・社内ルールを遵守し、公正かつ誠実な対応を行います。
- ▶ 正確でわかりやすい情報提供を心がけ、誤解を招く表現や不適切な行動はしません。

公正かつ健全な
事業活動のために

私たちの
経営資源を守る

従業員の尊重

良き企業市民
として

マネジメント



▶ お客様に対する誠実な対応

- ▶ お客様一人ひとりの価値観や背景を尊重し、多様性に配慮した誠実な対応を行います。
- ▶ 倫理的な姿勢を持って、誠実で責任あるマーケティング活動を実践します。
- ▶ お客様からお預かりした個人情報は適切に管理・保護します。
詳しくはプライバシーポリシーをご覧ください。



こんな場合はどうしたらよい？

Q お客様から要望があった場合には、法令に違反する車両の改造や車検を行ってもよいでしょうか？

A いいえ、法令違反はどんな理由でも許されません。安全性を損なう改造や、基準を満たさない車両の整備は、いすゞの信頼を損なうとともに、事故の原因となり行政処分の対象にもなります。迷ったときは、必ず上司や社内の専門部署に相談してください。

Q 展示会で、競合他社の製品と比較して自社製品を過度に持ち上げる説明をしてしまいました。問題はありますか？

A 各国地域の法令に準拠した比較広告等であっても、誇張や他社を貶める表現は、誠実さ・公正さ・透明性のあるマーケティングに反します。常に事実に基づいた公平な説明を心がけましょう。

わからないことがあった時の連絡先

わからないことがあった場合は、営業管轄部署、製品開発・品質管理管轄部署等に相談してください

はじめに

お客様からの信頼

▶ 公正かつ健全な
事業活動のために私たちの
経営資源を守る

従業員の尊重

良き企業市民
として

マネジメント

公正かつ健全な事業活動のために

- ▶ 公正な競争
- ▶ 公正な調達活動
- ▶ 腐敗・贈収賄の防止
- ▶ 適切な情報開示
- ▶ 反社会的勢力やその他の組織的犯罪集団との関わりの禁止
- ▶ 税の透明性

公正かつ健全な 事業活動が 大切な理由

公正で健全な事業活動は、
社会やお客様、お取引先様からの
信頼を得るための大切な土台です。
ルールを守り、誠実に行動することで、
安心して選ばれる企業となり、
従業員一人ひとりが誇りを持って
働ける環境を築くことができます。
こうした積み重ねが、
持続的な成長と社会への
貢献につながります。

いすゞの約束

- ▶ いすゞは、公正かつ自由な競争を尊重し、健全な市場環境の維持に努めます。
- ▶ いすゞは、各国・各地域の競争法の遵守を徹底し、公正かつ自由な競争に基づいた取引を行います。
- ▶ いすゞは、輸出入取引を行う企業として輸出入に関する法令・ルールを遵守します。
- ▶ いすゞは、公正で透明性のある調達活動を行い、信頼できる取引関係を築きます。
- ▶ いすゞは、贈収賄や腐敗を断固として排除し、誠実な事業運営を行います。
- ▶ いすゞは、適切な情報開示を通じて、社会との信頼関係を深めます。
- ▶ いすゞは、反社会的勢力やその他の組織的犯罪集団とは一切関係を持たず、毅然とした対応を徹底します。
- ▶ いすゞは、税の透明性を確保します。
- ▶ いすゞは、上記を適正に実施し、リスクを低減するためのデュー・ディリジェンス（リスクの特定・評価・対策）を講じるとともに、教育と訓練の機会を提供します。

従業員の約束

- ▶ 私は、法令や社内ルールを守り、公正で健全な事業活動を行います。
- ▶ 私は、お取引先様と誠実に向き合い、公平な調達活動を実践します。
- ▶ 私は、贈り物や接待等に関して法令や社内ルールに従い、透明性を保ちます。
- ▶ 私は、業務に関する情報は正確に管理し、必要に応じて適切に開示します。
- ▶ 私は、反社会的勢力やその他の組織的犯罪集団とは一切関係を持ちません。



カルテルとは？

カルテルとは、競争関係にある企業同士が価格や販売条件等を事前に取り決めることで、競争を実質的に制限する違法行為です。独占禁止法や各国・各地域の競争法により厳しく禁止されており、企業の信頼や市場の健全性を損なう行為です。例え「暗黙の了解」や「慣習的な合意」であっても、カルテルとみなされる場合があります。

〈カルテルの例〉

- ・ 同業他社と最低価格を決めて販売する
- ・ 入札前に受注企業を事前に調整する
- ・ 新技術の採用・利用の制限を申し合わせる



はじめに

お客様からの信頼

公正かつ健全な事業活動のために

私たちの経営資源を守る

従業員の尊重

良き企業市民として

マネジメント

▶ 公正な競争

- ▶ 公正で自由な競争は、社会からの信頼を得るための基本であると認識します。
- ▶ グローバル企業として、輸出入に関する法令を遵守し、関税法上の適切な手続きを行い、各国・各地域の競争法を遵守した取引を行います。
- ▶ カルテル行為（価格協定・入札談合・受注調整・市場分割等）等の競争法違反行為には一切関与しません。
- ▶ 競合他社との不適切な接触や情報交換を避け、業界団体や展示会等での接触時も、価格や販売条件等の重要な競争手段である競争機微情報の交換は行いません。
- ▶ 競合他社との接触は、意図せず反競争的行為とみなされる可能性があるため、慎重な対応が必要であると認識します。
- ▶ 競合他社等と共同で取り組む行為については、内容によっては市場や社会にとって良い効果が期待される一方で、競争を弱めるおそれがある場合もあります。このように競争法上の評価（適法かどうか）が分かれ得る案件について、明確に判断できない場合には、自己判断せず、法務・コンプライアンス管轄部署に相談します。

- ▶ インサイダー取引を行いません。業務上知り得た未公開の重要情報を利用した株式等の取引は法律違反であり、社内外の信頼を損なう重大な不正行為であると認識します。
- ▶ 未公開情報の取り扱いには細心の注意を払い、疑問がある場合は上司に報告します。

- ▶ マネーロンダリングに加担しません。犯罪収益を合法的な資金に見せかける行為は、国内外で厳しく規制されていることを認識します。
- ▶ 取引先の資金の出所に疑わしい点がある場合は、速やかに上司に報告・相談します。

はじめに

お客様からの信頼

▶ 公正かつ健全な
事業活動のために用語
解説

インサイダー取引とは？

インサイダー取引とは、未公開の重要情報を利用して株式等の取引を行う違法行為です。企業の公正性や市場の信頼性を著しく損ないます。情報の管理と慎重な行動が求められます。

〈インサイダー取引の例〉

- ・ 決算発表前に、自社株を売却して損失を回避する
- ・ 未発表の合併情報を知っている従業員が、対象企業の株を購入する
- ・ 新商品の発表前に、関連企業の株を買い増す

用語
解説

マネーロンダリングとは？

マネーロンダリングとは、テロ・人身売買・麻薬取引等の犯罪活動で得た資金の出所を隠し、合法的な資金に見せかける行為です。金融機関や企業を通じて資金を移動・変換することで、資金の流れを不透明にし、違法性を隠します。国際的にも厳しく規制されており、いすゞはマネーロンダリングを含む不正リスク防止のための内部統制を徹底しています。

〈マネーロンダリングの例〉

- ・ 架空の取引を装って資金を送金する
- ・ 第三者名義の口座を使って資金を分散する
- ・ 海外のタックスハイブンを経由して資金を移動する

私たちの
経営資源を守る

従業員の尊重

良き企業市民
として

マネジメント

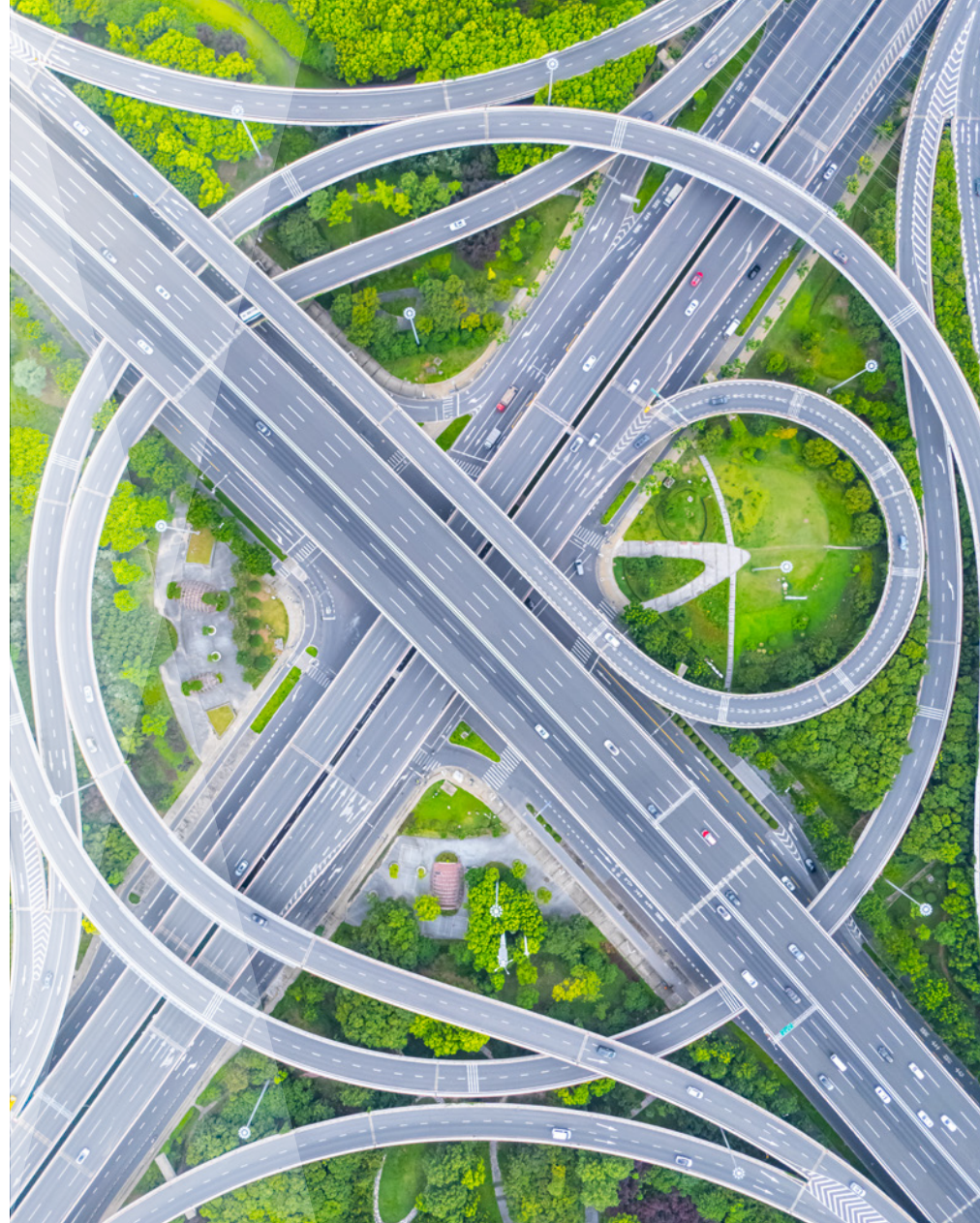
こんな場合はどうしたらよい？

Q 業界団体の会合で、他社の担当者が「最近では製品価格を上げている」と話していました。どうすればよいですか？

A 価格等の市況に関する話題はカルテルとみなされる可能性があります。市況に関する話題が出たら、異議を述べ、その場にいられない理由を明確に宣言するとともに議事録への記載を要求して、退席してください。また、会合終了後に必ず上司および法務・コンプライアンス管轄部署に報告してください。

Q 従業員としてマネーロンダリング防止のために日常的に注意すべきことは何ですか？

A 取引先の口座が正しいかどうかを確認することが最も重要です。特に新規や口座変更時には、不正口座を登録しないよう注意が必要です。その際、請求書の形式や連絡先に不自然さがないかを確認し、口座名義と取引先名の一致を確かめてください。また、急な口座変更依頼（特に海外口座）の場合は、必ず担当者に直接連絡を取り、情報の真偽を確認することが不可欠です。



▶ 公正な調達活動

- ▶ 法令・社会規範・社内ルールを遵守し、公正な調達活動を行います。
- ▶ 優越的地位を濫用せず、すべての取引先に公平な競争機会を提供します。また品質・価格・納期・供給能力等合理的な基準に基づき、公正に取引先を選定します。
- ▶ 契約条件や代金支払等において、誠実かつ適正に対応するとともに、関連する法令を遵守し、取引先の信頼を損なう行為を行いません。
- ▶ 調達活動において贈答・接待・金銭の授受等、個人的な利益供与を受けません。
- ▶ 強制労働・児童労働を許容せず、人権・労働安全衛生に配慮した取引を行います。
- ▶ 環境保全・持続可能性に配慮した調達活動を推進します。
- ▶ 紛争鉱物を含む責任ある鉱物調達を実施し、透明性を確保します。
- ▶ 取引先から得た機密情報を適切に管理し、漏洩しません。
- ▶ 調達先に対しても、品質・安全・環境・人権に関する基準の遵守を求めます。
- ▶ 調達活動における不正や違反の疑いがある場合、速やかに報告・相談します。
- ▶ 調達先との協働を通じて、持続可能な社会の実現に向けた改善と発展に努めます。

こんな場合はどうしたらよい？

Q 取引先との契約で、支払期日をいすゞの都合で一方向的に延長することは問題ですか？

A はい、問題です。中小企業保護や公正取引に関する法令（日本における取適法）では、優越的地位の濫用や支払遅延を禁止しています。契約条件は誠実かつ適正に取り扱い、取引先との信頼関係を損なわないようにしましょう。

Q 調達先の選定において、以前からの付き合いがある調達先に便宜を図ってもよいですか？

A いいえ、公正な調達のためには、品質・価格・納期・供給能力等合理的な基準に基づいて選定する必要があります。過去の関係性だけで判断することは、公平性を損なう可能性があります。

▶ 腐敗・贈収賄の防止

- ▶ 腐敗行為（贈収賄を含む）を一切認めず、国内外の関連法令および社内ルールに従い、誠実かつ透明性のある事業活動を行います。
- ▶ 公務員を含むいかなる相手に対しても、贈収賄や不正な利益供与、便宜供与（ファシリテーション・ペイメントを含む）は行いません。公務員や取引先に対して、業務上の便宜を目的とした金銭・贈答品・接待等の提供・受領または要請も行いません。また、第三者（代理店・仲介業者・行政サービス業者等）を介して不正な利益が授受されるような行為にも関与しません。そして、現地の慣習を理由に例外的な取り扱いもしません。
- ▶ 贈答・接待（政治献金・寄付・スポンサーシップ等の活動を含む）を行う、または受ける場合は、それが現地の慣習であっても、社内ルールに従い、事前承認および適切な報告を行います。
- ▶ 腐敗防止に関する社内教育・研修を定期的に受講し、意識と知識の向上に努めます。
- ▶ 判断に迷う場合または疑わしい行為を発見した場合は、速やかに上司または法務・コンプライアンス管轄部署に報告します。

はじめに

お客様からの信頼

公正かつ健全な
事業活動のために私たちの
経営資源を守る

従業員の尊重

良き企業市民
として

マネジメント

用語
解説

ファシリテーション・ペイメントとは？

ファシリテーション・ペイメントとは、公的機関やその職員に対して、通常の業務を迅速に処理してもらうために支払われる少額の金銭や物品のことです。許認可の発行や税関での手続き等、正当な業務の範囲内で「便宜を図ってもらう」目的で行われる支払いです。

一部の国では慣習的に行われている場合もありますが、日本を含む多くの国では贈収賄や腐敗行為とみなされる可能性があり、企業として厳しく禁止すべき行為です。いすゞは、ファシリテーション・ペイメントを含むあらゆる不正な利益供与を認めず、国内外の法令を遵守します。

〈ファシリテーション・ペイメントの例〉

- ・ 税関職員に迅速な通関処理を依頼するために現金を渡す
- ・ 公務員に許認可の発行を急いでもらうために贈答品を渡す
- ・ 現地の慣習として、行政手続きの円滑化を目的に少額の支払いを行う

こんな場合はどうしたらよい？

Q

接待や贈答品を提供・受領することは、すべて禁止されているのですか？

A

すべてが禁止されているわけではありませんが、業務上の判断や取引に不当な影響を与えるおそれがある場合や、法令・社会通念を逸脱する接待・贈答は厳しく制限されています。公務員等への接待・贈答は禁止、民間人に対しても「相当な範囲」に限られ、すべて記録・報告が必要です。迷ったときは必ず上司や法務・コンプライアンス管轄部署に相談してください。

Q

海外の取引先から「現地の慣習」として接待を受けるよう求められました。受けても問題ありませんか？

A

現地の慣習であっても、現地法・日本法等の適用法令といすゞグループ各社の接待・贈答ガイドラインのすべてに適合する場合に限り検討可能です。いずれかひとつでも抵触するおそれがあれば受けてはいけません。判断に迷うときは事前に上司または法務・コンプライアンス管轄部署に相談し、接待を受けるときは所定の申請・記録を徹底してください。



▶ 適切な情報開示

- ▶ 法令・規則・社内ルールに従い、企業情報を正確かつ誠実に記録し開示します。
- ▶ お客様・株主/投資家・お取引先様・地域社会等、すべてのステークホルダーに対して、公平で透明性のある情報提供を行います。
- ▶ 適正な財務記録および会計処理を行い、虚偽・改ざん・隠蔽・誤解を招く記録・報告は行いません。
- ▶ 機密情報や個人情報 は適切に管理します。また、法令や社内規程に基づき、開示が求められる情報と明確に区別します。
- ▶ 社外への発信（報道対応・SNS・講演等）は、社内承認を得たうえで、企業の信頼性を損なわないよう慎重に対応します。
- ▶ 情報開示に関する継続的な教育・研修を通じて意識向上を図ります。



こんな場合はどうしたらよい？

Q 決算発表前に、友人から「今期の利益はどう？」と軽く聞かれました。雑談程度で答えてしまっても大丈夫ですか？

A 「今期の利益は重要事実等に該当する可能性があるため、回答はできません。」と伝えましょう。雑談であっても、未公表情報を伝えることは不公平な情報開示であるうえに、インサイダー取引につながるリスクがあります。

Q 長年の付き合いがある投資家から、他の人には話していない事業方針を内々に教えてほしいと依頼されました。信頼関係もあるので答えてもいいですか？

A 事業方針は重要事実等に該当する可能性があるため、「開示は不可」と伝えましょう。特定の投資家にだけ情報を提供することは、公平性を欠き不正な取引につながるおそれがあるうえに、インサイダー取引につながるリスクがあります。



はじめに

お客様からの信頼

▶ 公正かつ健全な
事業活動のために私たちの
経営資源を守る

従業員の尊重

良き企業市民
として

マネジメント

▶ 反社会的勢力やその他の組織的犯罪集団との関わりの禁止

- ▶ 企業が反社会的勢力やその他の組織的犯罪集団と関係を持つことは、法令違反や社会的信用の失墜につながる重大なリスクであることを十分に認識し、いずはそれらとの関係を持ちません。
- ▶ 反社会的勢力やその他の組織的犯罪集団からの不当な要求には応じず、適切な体制のもとで冷静に対応します。
- ▶ これらの関係が疑われる事案が生じた場合には、速やかに上司または法務・コンプライアンス管轄部署に報告し、関係部門と連携して、組織的かつ継続的に適切な対応を行います。

▶ 税の透明性

- ▶ 各国・地域の税法および関連法令を遵守し、適切な税務処理を行います。
- ▶ 事業目的や実体をとまなわない組織形態や取引による租税回避は行いません。タックスヘイブンの濫用や恣意的な利益移転を避け、国際基準に準拠した税務管理を実施します。

用語
解説

タックスヘイブンは？

タックスヘイブンは、法人税率が極めて低い、または課税が免除される国や地域を指します。これらの地域では、企業が税負担を軽減する目的で子会社や関連会社を設立し、利益を移転することで課税を回避する行為が問題視されることがあります。OECD（経済協力開発機構）等の国際機関は、タックスヘイブンの濫用による租税回避を防ぐためのプロジェクトを推進しています。日本でも、租税回避行為に対する規制が強化されており、企業には実体のある取引と税務の透明性が求められています。

«タックスヘイブンの例»

ケイマン諸島
バミューダ
パナマ
ジャージー島
バージン諸島（英領）

わからないことがあった時の連絡先

わからないことがあった場合は、法務・コンプライアンス管轄部署、税務管轄部署に相談してください

21



はじめに

お客様からの信頼

▶ 公正かつ健全な
事業活動のために

私たちの
経営資源を守る

従業員の尊重

良き企業市民
として

マネジメント



はじめに

お客様からの信頼

公正かつ健全な
事業活動のために

▶ 私たちの
経営資源を守る

従業員の尊重

良き企業市民
として

マネジメント

私たちの経営資源を守る

- ▶ 利益相反の防止
- ▶ 会社資産の保護と活用
- ▶ 情報管理
- ▶ サイバーセキュリティ

私たちの経営資源を守ることが大切な理由

企業にとって人材・資金・設備・情報等の経営資源を守ること、そして従業員一人ひとりが会社の利益と私的利益の衝突を回避すること(利益相反の防止)は、安定した事業運営と競争力の維持に不可欠です。経営資源の喪失や利益相反の発生は、生産性の低下や信用の喪失のリスクを高め、業績悪化を招きかねません。長期的に社会的な価値を創出するためにも、利益相反の正しい理解と、経営資源の適切な管理・保護・活用は極めて重要です。

いすゞの約束

- ▶ いすゞは、事業活動におけるあらゆる場面で、経営資源の重要性と利益相反のリスクを踏まえ、会社の資産を適切に管理・保護・活用します。そのために、法令および社内ルールを整備し、安定した事業運営と企業価値の向上に努めます。

従業員の約束

- ▶ 私は、会社の資産を守ることと、利益相反を避けることが、会社の信頼と持続的な成長につながることを理解します。そのうえで、日々の業務において、社内ルールを判断の拠り所とし、会社の資産を適切に扱います。

はじめに

お客様からの信頼

公正かつ健全な
事業活動のために▶ 私たちの
経営資源を守る

従業員の尊重

良き企業市民
として

マネジメント

▶ 利益相反の防止

- ▶ 利益相反についての知識と理解を深め、何が利益相反に当たるのかを的確に把握します。
- ▶ 個人的な利益や関係が業務上の判断に影響を与えることのないよう、利益相反を回避します。
- ▶ 業務に関連する外部活動（親族や知人との取引・投資・兼業等）が会社の利益と相反する可能性がある場合は、速やかに上司または法務・コンプライアンス管轄部署に報告し、適切な対応を取ります。

▶ 会社資産の保護と活用

- ▶ 会社から提供された物理的・金銭的・電子的資産を業務目的に限って使用し、適切に管理します。
- ▶ いすゞの知的財産（発明・商標・デザイン・営業秘密・ノウハウ・著作物等）は、競争力の源泉であり重要な資産です。
- ▶ いすゞは、自社の知的財産の適切な保護と活用に努めるとともに、第三者の知的財産を尊重します。

こんな場合はどうしたらよい？

Q 取引先に勤務する親族より「自社との契約条件を有利にしてほしい」との要望がありました。どのように対応すべきでしょうか。

A 利益相反に該当します。親族関係が判断に影響を及ぼすおそれがあるため、契約条件は厳正かつ公正に決定する必要があります。このような申し出を受けた場合、自己判断は避け、必ず上司または法務・コンプライアンス管轄部署等の適切な窓口へ速やかに報告してください。

Q 家族が取引先に勤務し、いすゞとの取引に直接または間接的に関わっている場合、報告は必要ですか？

A はい、上司への報告が必要です。調達先に家族がいる場合等、会社の利益に個人的な関係が関わる可能性がある場合は、公正性確保の観点から、調達選定業務から外れることが重要です。

用語
解説

利益相反とは？

利益相反とは、人や組織が複数の立場や利害関係を持つことで、公正な判断や行動が難しくなる状態を指します。

例えば、会社所有の車を私的に使用しながら、会社の経費で維持管理を行っていた場合、会社の資産を個人の利益のために使っていることになり、利益相反に該当します。企業では透明性や信頼性を保つために、利益相反の排除または回避が重要です。



▶ 情報管理

- ▶ 業務上取り扱う情報（財務情報・技術情報・顧客情報・戦略情報等）は、会社の重要な情報資産であり、第三者に情報漏洩しないよう、厳格に管理しなければなりません。
- ▶ 情報管理に当たっては、各国の法令だけでなく、社内規則や契約等の第三者との合意事項を遵守しなければなりません。
- ▶ 会社が定期的に実施する情報セキュリティ教育を必ず受講し、情報セキュリティ意識の向上と維持に努めなければなりません。

▶ サイバーセキュリティ

- ▶ 複雑なパスワードを設定する等、強固な認証手段を用い、認証情報を共有・再利用しません。アクセス権は職務上必要最小限に限定し、役割変更・離任時は速やかに見直します。
- ▶ 情報・システム・端末・ネットワーク・クラウド等は、社内ルールに従い、安全な設定・更新を維持し、正当な業務目的の範囲でのみ利用します。
- ▶ 不審なメール・不正なアクセス・情報漏えいの兆候等を認識した場合は、直ちに所定の窓口・連絡先へ通報し、調査・対応に協力します。

こんな場合はどうしたらよい？

Q 展示会で他社従業員と話していたら、いすゞの新技术に関する話題になりました。どうすればよいですか？

A 会社の技術情報は、公開されている情報を除き機密情報に該当する可能性があります。万が一、機密情報に関する話題になった場合には、「機密情報に関することはお話しできません」と丁寧に断ってください。

Q 退職する同僚が「今後の参考に」と社内資料を持ち帰ろうとしています。止めるべきでしょうか？

A はい、止めましょう。社内資料は会社の重要な情報資産になりますので、業務目的以外での利用や持ち出しは認められていません。
また、入社時に提出した誓約書には、在職中および退職後においても機密情報の取扱いに関する遵守事項が明記されています。仮に資料を持ち出した場合、不正競争防止法に抵触する可能性もあり、法的責任を問われることとなります。本人にはこれらの点を丁寧に説明し、必要に応じて上司へ報告のうえ、適切な対応を協議してください。

Q 業務中に不審なメールを受け取った場合、どうすればよいですか？

A 添付ファイルやリンクを開かないでください。また、周囲の人に注意喚起をするようにしてください。万が一開いてしまった場合には、社内ルールに従ってすぐに所定の窓口へ報告してください。

Q 個人のUSBメモリや外部記憶媒体を業務用パソコンに接続しても問題ありませんか？

A ウイルス感染や情報漏えいのリスクがあるため、社内ですべての機器以外の接続は避けてください。

わからないことがあった時の連絡先

わからないことがあった場合は、法務・コンプライアンス管轄部署、知的財産管轄部署、情報管理管轄部署に相談してください

はじめに

お客様からの信頼

公正かつ健全な
事業活動のために

私たちの
経営資源を守る

▶ 従業員の尊重

良き企業市民
として

マネジメント

従業員の尊重

- ▶ 差別の禁止
- ▶ 職場環境の整備・安全配慮義務(含むハラスメント)
- ▶ 児童労働・強制労働の禁止
- ▶ 結社の自由、団体交渉権
- ▶ 多様性の尊重
- ▶ 能力開発、ワーク・ライフ・バランス

従業員を 尊重することが 大切な理由

いすゞは、すべての従業員が安心して働ける環境を整えることが、企業としての持続的な成長につながると考えています。多様性を尊重し、公正で安全な職場づくりを通じて、一人ひとりの力を最大限に引き出します。

いすゞの約束

- ▶ いすゞは、すべての従業員に対して差別のない公平な機会を提供します。
- ▶ いすゞは、児童労働や強制労働を一切認めず、法令や国際基準を遵守します。
- ▶ いすゞは、性別・国籍・年齢・価値観等の多様性を尊重し、誰もが安心して働ける職場づくりを推進します。
- ▶ いすゞは、安全で健康的な職場環境を整備し、ハラスメントのない職場を目指します。
- ▶ いすゞは、従業員の結社の自由と団体交渉権を尊重し、対話を重視します。
- ▶ いすゞは、従業員の能力開発とワーク・ライフ・バランスの実現を支援します。

従業員の約束

- ▶ 私は、互いの違いを認め、差別や偏見を行いません。
- ▶ 私は、児童労働や強制労働に一切加担しません。
- ▶ 私は、多様な価値観を尊重し、誰もが安心して働ける職場づくりに貢献します。
- ▶ 私は、いかなる場合も安全を最優先に業務を遂行します。
- ▶ 私は、ハラスメントのない健全な職場づくりに努めます。
- ▶ 私は、自由に意見を述べる権利を大切にし、建設的な対話を行います。
- ▶ 私は、自らの成長に努め、健康的な働き方を大切にします。

はじめに

お客様からの信頼

公正かつ健全な
事業活動のために私たちの
経営資源を守る

▶ 従業員の尊重

良き企業市民
として

マネジメント

▶ 差別の禁止

- ▶ すべての人の尊厳と人権を尊重し、差別のない職場づくりに取り組みます。
- ▶ 性別・年齢・国籍・人種・民族・宗教・障がい・価値観等、個人の属性を理由として、採用・処遇・昇進・日常の職場でのやりとりにおいて不当な差別・嫌がらせを行いません。誰に対しても、職場における尊厳を尊重します。
- ▶ 採用・昇進・配置・評価・報酬等は、個人の能力と成果に基づいて公正に行います。
- ▶ 差別的な言動や態度をとりません。また職場でそのような行為を見聞きした場合には黙認せず、適切に対応します。
- ▶ 差別のない職場環境を維持するため、互いに気づき合い、学び合い、必要に応じて支援を求める姿勢を持ちます。

▶ 児童労働・強制労働の禁止

- ▶ 児童労働および強制労働を一切認めません。不当な労働慣行を見逃さず、上司や相談窓口へ報告します。
- ▶ 国内外の法令および国際的な人権基準（「労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言」や国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」等）に従って行動します。
- ▶ 雇用はすべて本人の自由意思に基づき、暴力・脅迫・拘束・詐欺等による労働の強制を行いません。
- ▶ 労働時間・休憩・賃金等の条件は、法令に基づき適正に管理します。
- ▶ サプライチェーンにおいても、児童労働・強制労働の排除を徹底し、取引先にも同様の責任を求めます。

▶ 多様性の尊重

- ▶ 一人ひとりの違いを認め、性別・年齢・国籍・人種・宗教・障がい・価値観等の多様性を尊重します。
- ▶ 多様な背景を持つ人々が安心して働けるよう、日常の対話や協働を通じて理解を深めます。

はじめに

お客様からの信頼

公正かつ健全な
事業活動のために私たちの
経営資源を守る

▶ 従業員の尊重

良き企業市民
として

マネジメント



▶ 職場環境の整備・安全配慮義務(含むハラスメント)

- ▶ 安全で衛生的な職場環境を維持し、心身の健康を守ります。
- ▶ 業務に伴う危険や災害を未然に防ぐため、必要な対策を講じます。
- ▶ ハラスメントを一切許さず、互いに敬意を持って接します。
- ▶ 不適切な言動や環境に気づいた場合は、速やかに対応します。

▶ 結社の自由、団体交渉権

- ▶ 各国・地域の法令に従い、認められた範囲で結社の自由および団体交渉権を尊重し、健全な労使関係を築きます。
- ▶ 意見や要望を安心して表明できる環境を保ち、対話を通じて互いの立場を理解する姿勢を大切にします。

▶ 能力開発、ワーク・ライフ・バランス

- ▶ 自らの成長に主体的に取り組み、互いに学び合い、支え合う姿勢を大切にします。
- ▶ 業務を通じて能力を発揮できる環境を整え、個人の力を組織の力につなげます。
- ▶ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を図り、柔軟で持続可能な働き方を実現します。

こんな場合はどうしたらよい?

Q 作業中に安全対策が不十分だと感じる設備があります。誰に伝えればよいですか?

A 直属の上司または安全衛生担当者に速やかに報告してください。事故を未然に防ぐため、気づいたことはすぐに共有することが重要です。

Q 職場でハラスメントと思われる言動を受けました。誰に相談すればよいですか?

A 社内外の相談窓口や人事管轄部署に連絡してください。相談内容は守秘義務により守られ、適切な対応が取られます。

わからないことがあった時の連絡先

わからないことがあった場合は、法務・コンプライアンス管轄部署、人事管轄部署・安全衛生管轄部署・サステナビリティ管轄部署に相談してください

はじめに

お客様からの信頼

公正かつ健全な
事業活動のために

私たちの
経営資源を守る

従業員の尊重

▶ 良き企業市民
として

マネジメント

良き企業市民として

- ▶ 環境保全への貢献
- ▶ 人権の尊重
- ▶ 交通安全
- ▶ ステークホルダーとの対話と社会貢献

良き企業市民であることが大切な理由

いすゞはMISSIONとして掲げる「あなたと共に『運ぶ』を解決する」企業として、社会や環境と深く関わりながら事業を展開しています。

持続可能な社会の実現には、環境保全や人権尊重、交通安全、地域との対話等、企業としてステークホルダーからの期待に応えていくことが大切です。

私たち一人ひとりの行動が、いすゞの信頼と未来をつくります。

いすゞの約束

- ▶ いすゞは、環境デュー・ディリジェンスを実施し、事業活動が環境に与える影響を把握・改善し、持続可能な社会の形成に主体的に貢献します。
- ▶ いすゞは、国際的な人権規範を尊重し、人権デュー・ディリジェンスを通じて事業活動に関わるすべての人の権利を尊重します。また救済窓口を設置し、報復等の不利益を受けることなく通報・相談できる環境を保證します。
- ▶ いすゞは、社会からの期待に応える、安全性と信頼性に優れた製品・サービスの提供を通じて、交通事故ゼロ社会を目指します。
- ▶ いすゞは、ステークホルダーとの誠実な対話と適切な情報開示を通じて社会との信頼関係を築きます。
- ▶ いすゞは、サプライチェーン全体において、環境・人権に配慮した責任ある調達を推進します。

従業員の約束

- ▶ 私は、環境・人権・交通安全について社会からの期待を理解し、ルールを守ります。
- ▶ 私は、職場や業務において環境に配慮した行動を心がけます。
- ▶ 私は、すべての人を尊重し、差別やハラスメントのない職場づくりに貢献します。
- ▶ 私は、交通ルール・マナーを遵守し、仲間や社会から信頼される模範的な運転を心がけます。
- ▶ 私は、社会や地域の声に耳を傾け、誠実な対応を心がけます。

▶ 環境保全への貢献

▶ 地球環境問題への積極的関与

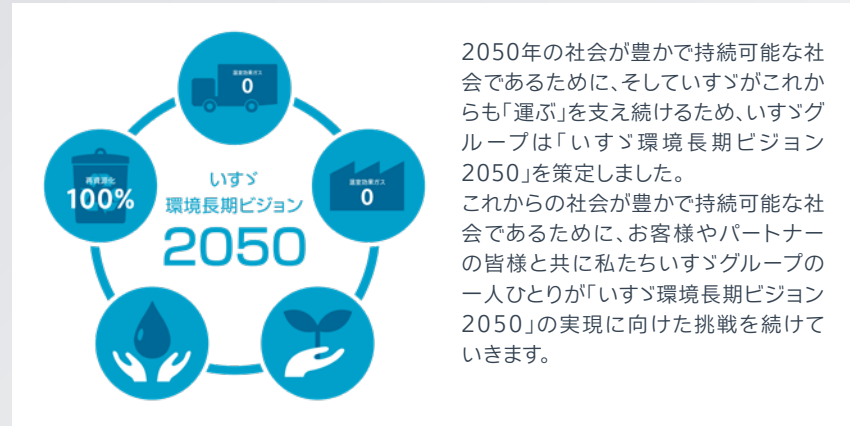
- ・ 環境に関する法令を遵守するとともに、「いすゞグループ地球環境憲章」に則り、すべての事業領域において地球環境保全に配慮した事業活動を推進します。
- ・ 気候変動対策として、事業活動や製品から排出されるGHGゼロの実現に向けた活動を推進します。
- ・ 資源の有効活用と廃棄物の削減を通じて、循環経済の実現に向けた活動を推進します。自然資本への負の影響を最小限に抑えるため化学物質等による環境リスクの予防/対策・生物多様性の保全等の取り組みを推進します。

▶ 環境デュー・ディリジェンスの実施

- ・ 自社や主要お取引先様の業務が環境にどんな影響を与えるかを意識し、必要に応じて改善や対応を行います。
- ・ お取引先様や協力会社の環境への取り組みにも目を向け、問題がある場合は社内で共有し、対応につなげます。
- ・ 環境に関するリスクや対応状況は、社内外に正しく伝えるよう努め、透明性を大切にします。

▶ 環境負荷を低減する技術開発の推進

- ・ 環境法令の遵守を徹底し、開発・生産・物流・販売・サービス等、すべての事業領域において気候変動対策・資源循環推進・化学物質等による環境リスクの予防・対策・生物多様性の保全等の重要な環境課題に取り組み、環境負荷を最小化します。
- ・ 製品のライフサイクルのすべてにおいて、より環境負荷を低減する技術開発を推進します。



環境・人権デュー・ディリジェンスとは？

自社やお取引先様が環境や人権に悪影響を与えていないかを調べ、必要な対策をとる仕組みが「デュー・ディリジェンス」です。問題を未然に防ぎ、社会からの信頼を守るための「確認と改善」のための一連のプロセスを指します。近年、EU等で企業の環境・人権リスクへの対応を求める動きが広がっており、今後もさまざまな地域や業界でこうした取り組みが進むことが見込まれます。

はじめに

お客様からの信頼

公正かつ健全な
事業活動のために私たちの
経営資源を守る

従業員の尊重

▶ 良き企業市民
として

マネジメント

▶ 人権の尊重

▶ 国際規範・法令・グループ規範等の遵守

- ・ 国連「ビジネスと人権に関する指導原則」やILO（国際労働機関）・OECD「多国籍企業行動指針」等の国際的な人権規範を尊重し、国内外の法令および社内ルールを遵守します。
- ・ 事業活動が行われるすべての地域において、現地の法令と国際基準、社内基準を考慮し、より高い基準に従うよう努めます。

▶ 人権尊重と人権侵害への加担の回避

- ・ 自分または自社の活動が直接的または間接的に人権侵害を引き起こすことのないよう、常に注意を払います。

・ サプライチェーンやお取引先様において人権侵害（児童労働・強制労働・人身取引等）が疑われる場合は、適切な対応を行い、必要に応じて取引の見直しを行います。

・ 人権尊重の重要性を理解し実践できるよう、研修に参加し、人権に関する知識と感受性を高めます。

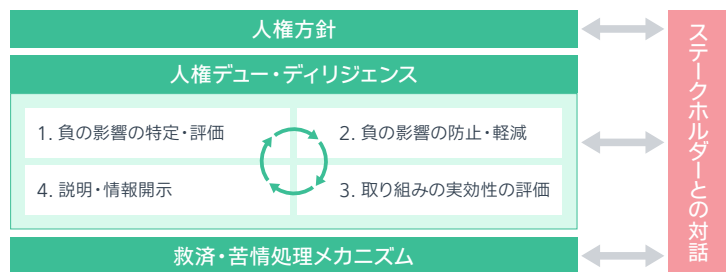
▶ 人権デュー・ディリジェンスへの参加

・ 会社が実施する人権デュー・ディリジェンスを理解し、日常の業務を通じて人権尊重に努めます。

・ 人権への負の影響が発生した場合には、迅速かつ公正な救済措置を講じます。

・ 人権に関する懸念を通報したことによって、報復や不利益を受けることは決してありません。

人権デュー・ディリジェンスのプロセス



いすゞグループ人権方針に基づき、国際的な規範を参照しながら、人権デュー・ディリジェンスのプロセス構築を推進しています。外国人労働者に関する課題や労働安全衛生における人権尊重等、主要な人権課題への対応を含め、取り組みを進めています。

こんな場合はどうしたらよい？

Q 同僚が差別的な発言をしているのを聞きました。注意すべきですか？

A 差別的な発言を聞いた場合は、すぐにその場で注意することが重要です。もし直接注意することが難しい場合には、ためらわずに上司や従業員相談窓口へ報告してください。放置することは結果として加担につながる場合があります。

Q 同じ部署の人が、宗教的な理由で特定の勤務時間や食事に配慮を求めています。どう対応すればよいでしょうか？

A 宗教や信条の自由は基本的人権のひとつです。本人の希望を尊重し、可能な範囲で配慮しましょう。対応に迷う場合は、上司や人事管轄部署に相談してください。

わからないことがあった時の連絡先

わからないことがあった場合は、サステナビリティ管轄部署に相談してください

▶ 交通安全

- ▶ 交通安全教育や訓練に積極的に参加し、交通安全に関わる知識と意識の向上に努めます。
- ▶ 事故の抑制と被害軽減を目指し、各車型に応じた安全性能の開発を進めます。

用語
解説

交通4悪とは?——根絶すべき重大違反

飲酒運転

アルコールの影響で判断力や運転能力が低下した状態での運転。死亡事故率が非常に高く、絶対にしてはならない行為です。

暴走運転

制御困難な高速度での走行、あおり運転等、周囲の安全を無視した危険な運転。事故時の衝撃が大きく、命に関わる事態を招きます。

無免許運転

運転資格のない者が車両を操作する行為。交通ルールの理解不足から重大事故につながる可能性があります。

ひき逃げ

事故を起こしたにもかかわらず、救護や通報をせずに現場から逃げる行為。被害者の命を危険にさらす重大な違反です。

これらの重大違反は、単なる過失ではなく、危険性・悪質性が高い行為であり、社会的にも強く非難されるものです。これらを「しない・させない」意識が、交通安全の第一歩です。

いすゞが交通安全を推進する意義

安心・安全なモビリティの未来の実現のため—— 交通安全への責任と行動

交通事故は命に関わる深刻な問題です。いすゞは交通事故ゼロ社会を目指し、安全性に配慮した車両の開発のみならず、社会全体の交通安全意識向上を目的とした啓発活動を積極的に推進しています。

従業員向けには交通安全に関する研修を実施し、日常の運転や業務での安全意識向上を図っています。また地域との連携を通じて社外向けの交通安全教室を開催し、意識啓発に取り組んでいます。

はじめに

お客様からの信頼

公正かつ健全な
事業活動のために

私たちの
経営資源を守る

従業員の尊重

▶ 良き企業市民
として

マネジメント



▶ ステークホルダーとの対話と社会貢献

- ▶ お客様・株主/投資家・お取引先様・従業員・地域社会等多様なステークホルダーとの対話を重視し、誠実で透明性のある情報開示を通じて、企業活動の公正性と信頼性の向上に努めます。
- ▶ 地域社会の課題に関心を持ち、ボランティア活動や社会貢献活動等を通じて、良き企業市民として地域や社会の発展に寄与します。また、社会・環境への配慮を事業活動に組み込み、持続可能な未来づくりに取り組みます。

- ▶ これらの取り組みが適切に行われるよう、取締役会是对話や情報開示の妥当性を監督し、グループ経営における透明性と説明責任の向上を図ります。

ステークホルダーとの対話の重要性

いすゞは、お客様・お取引先様・地域住民の皆様等多くの人に支えられて成り立っています。相手の声に耳を傾け、誠実に向き合い、信頼関係を築くことで、よりよい社会と未来の基盤づくりを進めます。

ステークホルダーとの対話・協働例

対象ステークホルダー	対話・協働の代表例
お客様	製品・サービスに関する満足度調査、フィードバックの収集と改善活動
株主・投資家	IR面談、事業説明会、統合報告書による情報開示
お取引先様	お取引先様相談窓口の設置、各種説明会・セミナーの開催
従業員	労使協議会の実施、エンゲージメントサーベイによる職場環境改善
行政	官民連携プロジェクトへの参画、防災・環境・交通安全等の社会課題対応
地域社会	地域イベントへの参加、社会科見学を受け入れ、交通安全教室の開催

詳しくは最新のサステナビリティレポートをご覧ください。

社会貢献活動の意義

いすゞは、地域の一員として社会とつながり、支え合うことを大切にしています。自分たちの技術や知識を活かして地域や社会の役に立つことは、いすゞらしい社会貢献のかたちだと考えています。



フィリピンにおける技術教育支援活動(いすゞ塾)

いすゞはフィリピンにおいて経済的に恵まれない若者を対象に、自動車整備士養成学校への教育支援活動「いすゞ塾」を行っています。単なる資金援助にとどまらず、指導員を日本から現地に派遣しており、本校卒業生の多くがフィリピン国内販売会社や海外で活躍しています。世界の優秀なエンジニアの育成に貢献します。

はじめに

お客様からの信頼

公正かつ健全な
事業活動のために

私たちの
経営資源を守る

従業員の尊重

良き企業市民
として

マネジメント

はじめに

お客様からの信頼

公正かつ健全な
事業活動のために

私たちの
経営資源を守る

従業員の尊重

良き企業市民
として

▶ マネジメント

マネジメント

▶ コンプライアンスを実効的に機能させるために

▶ コンプライアンスを実効的に機能させるために

いすゞが企業として健全な事業運営を行い、社会の中で信頼されながら成長していくためには、コンプライアンス体制の整備とその確実な運用が欠かせません。いすゞは、コンプライアンスが組織内で確実に根付くような体制を構築し、その運用状況を確認することで、全社的なコンプライアンス文化の醸成に取り組みます。

▶ コンプライアンスの徹底とリーダーシップの発揮

いすゞは、コンプライアンスを経営の最重要課題と位置づけています。トップマネジメントは、コンプライアンスが実効的に機能するよう統治の枠組みを整備し、率先垂範して不正の未然防止と撲滅に取り組みます。また、忠実義務・善管注意義務を果たし、利益相反を回避しながら、公正で透明性の高い判断を行います。同時に、コンプライアンス上の重要なリスクや不正に対しては、その是正および再発防止のための監督を行います。こうした取り組みにより、高い倫理観を浸透させ、組織全体のコンプライアンス文化を醸成します。

▶ 社内浸透の推進と意識向上

トップマネジメントは、コンプライアンスの重要性を社内に浸透させ、法令遵守および企業倫理の徹底を図るため、コンプライアンス教育・訓練を定期的を実施する等して従業員の意識向上を図ります。





▶ いすゞ自動車およびグループ会社の体制

- ・ いすゞ自動車は、取締役社長を委員長としたコンプライアンス委員会を設置してコンプライアンス活動を統括します。
また、いすゞ自動車は、グループ会社からのコンプライアンスに関する報告、連絡その他のコミュニケーションを強化してグループ全体としてのコンプライアンスの強化を図ります。グループ会社は、本章に定める趣旨・概念に則ってコンプライアンスを統括する責任者を設置したうえで、自社の規模や事業内容に応じたレポートラインおよびコミュニケーションを含めたコンプライアンス遵守のための体制を整備し、その内容を明確化します。
- ・ グループ会社は、重大なコンプライアンス違反やその疑いを認識した場合には、速やかにいすゞ自動車へ報告し、必要に応じていすゞ自動車の指導または支援を受けるものとします。いすゞ自動車およびグループ会社は、定期的なコミュニケーション（会議体等）を通じて情報共有と協議を行い、グループ全体で一体となってコンプライアンス活動を推進し、透明性と健全性の向上に取り組みます。

▶ 内部通報への対応

いすゞ自動車およびグループ会社は、コンプライアンス違反等の早期発見・早期解決および未然防止を図るため、社内外に相談窓口を設け、通報や相談を受け付けます。通報・相談内容は秘密として扱い、また、通報・相談をしたことや調査に協力したことを理由に報復措置やその他いかなる不利益処分を課しません。関係者の人権とプライバシーに配慮しつつ、必要な是正措置および再発防止策を講じます。

▶ コンプライアンスの有効性の確認

コンプライアンス活動の有効性を確保するため、いすゞ自動車およびグループ会社の監査機能を担う機関は定期的な監査および評価を実施します。

はじめに

お客様からの信頼

公正かつ健全な
事業活動のために私たちの
経営資源を守る

従業員の尊重

良き企業市民
として

▶ マネジメント

地球の「運ぶ」を創造する

ISUZU

発行元

いすゞ自動車株式会社

〒220-8720

神奈川県横浜市西区高島一丁目2番5号

横濱ゲートタワー

2026年5月 第1版発行